

# 喜多直毅 trio

# " 和洋の情念音楽 "

喜多直毅 violin

田中信正 piano

西嶋徹 contrabass

※マスクの着用を必ずお願いいたします。

※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2021 **06月26日 (土)**

開場 17:30

開演 18:00

(90分1ステージ小休止有) (1drink=600円~)

MC=3700円 +2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、  
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を  
ご記載下さい。



## 田中信正

1968年横浜生まれ。4歳より電子オルガンをはじめ、16歳でクラシックピアノに転向。国立音楽大学作曲学科中退。クラシックピアノを小灘裕子、ジャズピアノを藤井英一、橋本一子、佐藤允彦各氏に師事。1993年横浜ジャズプロムナード第一回コンペティションで、グランプリ及び個人賞ベストプレイヤー賞受賞。共演者と創り上げる自由で即興性に富んだ演奏活動は、JAZZのフォーマットばかりではなく多岐に渡る。現在は、数多くのユニットのメンバーとしてライブやレコーディングに参加している。ピアノトリオの範疇を超えた自己のユニット「田中信正 KARTELL (山田晃路 b、大槻カタル英宣 ds)」、2010年より酒井俊ユニットのベトナム公演に度々参加、林正樹 (pf) との Piano duo 「のぶまさき」、2014年からは超弩級ユニット「田中信正トリオ作戦失敗 (落合康介 b、橋本学 ds)」を始動、好評を博している。2018年10月、「田中信正トリオ作戦失敗」による第二作CD「キティ組曲」をリリース。

<http://tnobumasa.net/>

## 喜多直毅

国立音楽大学卒業後、渡英し作編曲を学ぶ。その後アルゼンチンにてタンゴヴァイオリン奏者のフェルナンド・スアレス・パスに師事。タンゴからプログレッシヴロック、アラブ音楽、フリージャズなどに演奏分野を拡大し、近年は即興演奏やオリジナル楽曲を中心とした演奏活動を行っている。2011年よりメインプロジェクトとして喜多直毅クアルテットを開始。出自であるタンゴと様々な音楽の融合による独自の世界を創り出している。黒田京子とのデュオでは、即興性を重視したユニークな編曲で映画音楽・昭和歌謡・オリジナル作品を演奏している。即興演奏を中心とする齋藤徹 (故人) の企画へも多数参加。日本や韓国の伝統音楽奏者との共演 (久田舜一郎、沢井一恵、他)、コンテンポラリーダンス作品への参加では国内のみならず欧州での演奏活動も多い。翠川敬基、田中信正、西嶋徹とのデュオも頻繁に行う。また作家・高樹のぶ子の朗読舞台ではヴァイオリンと作曲を担当している。ソングライターとしては上條恒彦へ楽曲を提供。我が国に於いて最も先鋭的な活動を行うヴァイオリニストの一人である。

## 西嶋徹

1973年東京生まれ。5歳よりヴァイオリン、高校よりエレキベースを始め、大学卒業後にコントラバスを始める。ジャズやアルゼンチンタンゴを軸に幅広い分野で活動。現在、Cuatrocientos、三枝伸太郎 Orquesta de la Esperanza、鬼怒無月 Quinteto、吉田篤貴 EMOstrings、などのグループに参加。これまでに、葉加瀬太郎、綾戸智恵、小野リサ、小松亮太、Jazztronik、Pablo Ziegler 等多くのアーティストのコンサートやレコーディングに参加。2014年にピアニスト林正樹との2枚目となる DUO アルバム「El retratador」をリリース。